

# 学校運営協議会議事録

作成日 令和4年11月29日

作成者 岩澤 和弥

会議名: 令和4年度 第2回小田原高等学校 学校運営協議会

日時: 令和4年11月28日(月) 14:50~17:00

場所: 第一会議室

## 時程・議題

1. 開会・校長挨拶
2. 地域連携部会
3. 学校評価部会
4. 協議

### [全日制]

- (1) 片倉保宏(教務)
- (2) 由元美保(研究開発)
- (3) 二宮賢一(生徒支援)
- (4) 高山貴子(キャリア)
- (5) 菊地原孝祐(総務)

### [定時制]

- (1) 柴田訓一(学習支援)
- (2) 上杉和弘(教育活動推進)

5. 委員からの意見聴取
6. その他

## [会議内容]

### 1. 地域連携部会

#### (1) 令和4年度 地域連携活動について(全日制)

- ・4月「小田原探訪」は、1月「小田原学成果発表会」に向けての探究活動である。
- ・地域貢献活動は年間4回行った。(内1回は雨天のため中止)
- ・インターンシップや小田原市長による講演会などを行っている。
- ・大島委員より、定時制で行われている「小田原散歩」では小田原城館長の講話を多くの生徒に聞いてもらいたいので、全日制でも「小田原探訪」で行えないかと質問があった。  
→菊地原総括より、検討するとの返答。

#### (2) 令和4年度 地域連携活動について(定時制)

- ・「おだていカフェ」やテーマ学習で地域との連携を行っている。
- ・地域貢献デーでは、72%の出席率だった。
- ・大島委員より、小田原城館長の講話を聴いた生徒が少なく残念との意見があった。  
→鈴木教頭より、人数が少ないところから選択授業のためにさらに少なくなっている状況だが、生徒は一生懸命に取り組んでいるとの報告があった。
- ・和田委員より、「おだていカフェ」について来年度は県からの予算がつかないと聞いており、小田原高校は以前、予算がつかないときも工夫して取組を継続していたが、どうなるかとの質問があった。  
→鈴木教頭より、まず、「おだていカフェ」を行うかというところから検討していくとの返答。
- ・大島委員より、テーマ学習の就職準備という講座の内容について質問があった。

→上杉総括、鈴木教頭より、就職に向けた心構えなどの座学や、適性検査を通して職業についての調べ学習を行ったとの返答

## 2. 学校評価部会

### (1) 令和4年度(2022年度)年間進路指導計画

(キャリアガイダンス G/川上)

- ・年間の進路指導計画滞りなく
- ・保護者を対象とした進路説明会や生徒向け説明会を複数回実施
- ・全職員で協力して進路指導するために職員会議などにおける情報共有を図っている
- ・3年次に関してはコロナの状況も見通せず、引き続き丁寧な対応が必要

(生徒活動支援 G/下澤)

- ・年間3回の進路説明会  
4月 進路のしおり  
6月 就職・進学準備  
8月 資格・職業に関するワーク(専門学校などの講師を招聘)  
2月 就職者・進学者による体験談
- ・進学状況について  
AO入試がほとんど。毎年進学希望がいるが、今年度は特に多い。
- ・インターンシップへの参加を募集  
ホテルや小学校におけるインターンシップを実施し、生徒の興味関心を引き出す。  
昨年度はインターンシップからアルバイトにつながり、生徒の主体的な活動に広がった。

[石野委員]

卒業生からアドバイスなどをもらうタイミングはあるか?  
教員や親とは違う立場は心に響くものがあるのではないか。

(回答)

就職者・進学者各2名ずつを呼んで、在校生に対するアドバイスや職業の内容を説明してもらう。

### (2) 公開研究授業(研究開発 G/由元)

「思考力・判断力・表現力を育む授業」をテーマに令和4年11月11日に実施

- ・一人一台端末を意識した授業を公開
- ・職員の意見交換を行った
- ・生徒の活動をどのように評価するかが今後の課題
- ・来年度のSSH指定に向けて今回の公開研究授業を踏まえた申請書を準備中

## 2. 学校運営協議会(司会 副校長/記録 岩澤・才田)

### ①石野会長より

- ・コロナによってさまざまな活動が制限されるなか、工夫をしている点が各部会からの報告で見て取れた。今後とも継続してほしい。

### ②出席者紹介

### ③学校運営協議会各部会より

### ④令和4年度学校評価中間報告について

## 《全日制》

### [総務 G]

地域貢献活動・学校説明会・防災訓練などを実施

- ・貢献活動は3年ぶりに実施。
- ・学校説明会や小田高カミングデー、公私合同説明会を実施。  
夏の説明会は900名の規模で行ったが、すぐに埋まった。  
第2回では人数を増やして実施。アンケート結果の紹介。

### [教務 G]

・教育課程・学習指導

今年度の入学生より年次進行で新学習指導要領だが、円滑な実施に成功していると考え。

「歴史総合」「公共」など新しい科目でのねらいを満たすように実施されていると考え。

- ・入学者選抜も遺漏ないよう準備を行っている。

### [研究開発]

・SSHの申請に向けて探究活動を中心とした教育課程の編成・再編を進めている。

単位時間などの見直しが必要になるため、教務と協力して対応。

・生徒による授業評価

生徒の「かなりあてはまる」の回答が過半数を超えて、目標は達成されていることが確認された。

・HP更新

本校のHPを見てくださっている外部の方が多く、タイムリーな情報提供を心掛けている。

### [キャリアガイダンス]

・年間進路指導計画

生徒や職員と模試の分析結果を共有し、学年ごとの特徴や注意点などを確認。

先輩大学生などでは情報機器の使用に課題がある。

すべての生徒に情報が行き渡るように配慮をしていきたい。

### [生徒支援]

・学校行事

文化祭(6月)、体育祭(9月)を実施

保護者観覧が可能になった。文化祭などではその後の感染拡大もなく無事に終了した。

数年間の空白期間があって、ノウハウの引継ぎに課題が残るが、生徒会を中心に引き継がれている。

・部活動

水泳・放送・ソフトテニス・少林寺拳法などが上位大会に進出。

チームスポーツの実績も少しずつ結果が出ている。

・教育相談

毎月の情報共有を徹底して丁寧に行う。

中間検討会などで対応を共有している。チームで対応することで教員の資質向上も図っている。

### [副校長]

・事故防止

毎月の事故防止会議を実施。

職員室が分かれており、コミュニケーションが難しい点があるので、今後の検討が必要。

入学者選抜の準備を進めている。

## 《定時制》

### [学習支援]

- ・主体的に学ぶ態度を育むために

12月にこれまでの実施内容を教科として検討する。

自己肯定感を高めるために、ICTを利活用。プロジェクトチームを立ち上げて授業実践を積極的に推進。

一斉授業に対応しにくい生徒もICTの利活用によって自分のペースを守って学習を行うことができていると考える。ICT授業のチャレンジ週間には教科を超えた情報共有を図った。

### [教育活動推進]

- ・生徒一人ひとりの抱える課題の多様化

生徒数が多くないために、迅速な対応が可能になっている。SSWやSCなど外部との協力も行っている。

おだ定カフェなどでも外部の人との関わりを持つ機会が取れている。

- ・陸上部が全国大会4位などの記録を残している。

- ・進路指導について

大学進学を目指す生徒もいる。進路状況としては「その他」0を目指し、進路未定のまま卒業することを避けるように目標を立てている。

## ⑤質疑応答

(委員) 生徒の進路に関し、コロナの影響は出ているか

(回答/全日制) 第一志望に対する影響は大きくない。少しばかり、自宅から通える範囲の志望が増える傾向はある。

(回答/定時制) 特に大きな影響はない。

(委員) 説明会への参加者に保護者が多い。進路説明会でも保護者向けが複数回あるが、保護者が進路に関わる場面が増えているのか。

(回答) 中学生には保護者と生徒が一緒になって考えてもらっている。進学に関しては、家庭ごとに事情が異なり、まずは生徒・保護者に正しい理解をしてもらうことを目標としている。また、入試制度も複雑化し、保護者の方の補助がないと難しい状況もある。あくまで第一志望は受験生本人の意思を重視するように入学当初から話をしている。保護者の方にも複雑なシステムを理解していただくことで、手続きミスなどによる進路実現の失敗を防ぐことができると考える。

## ⑥その他

今後の予定 3月9日(木) 14:30~16:30 (予定)

### [資料]

- (1) 令和4年度第2回小田原高等学校学校運営協議会
- (2) 令和4年度学校評価中間報告(実施結果) 全日制
- (3) 令和4年度学校評価中間報告(実施結果) 定時制
- (4) 令和4年度地域連携活動について(全日制)
- (5) 令和4年度小田原高等学校学校説明会の概要(全日制)
- (6) 令和4年度地域連携活動について(定時制)
- (7) 令和4年度テーマ学習実施要項(定時制)
- (8) 令和4年度(2022年度)年間進路指導計画(全日制)
- (9) 令和4年度小田原高等学校公開授業研究会(全日制)
- (10) 定時制の進路について